Kodak

i3200/i3250/i3400/i3450 スキャナー

ユーザーズガイド

A-61771_ja
5K2476

インストール CD のユーザーズガイド

安全性について

ユーザーへの注意事項

- スキャナーは20.4 kg（45ポンド）の重量に耐えられる安定した水平な場所に置き、スキャナーの周囲には十分なスペースを確保してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから1.52 m（5フィート）以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードが損傷しないよう注意してください（結ぶ、切る、改造するなどの行為を含む）。また、損傷した電源コードは使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、アースを付けてください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- 『ユーザーズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを解体、修理または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルを接続したままでスキャナーを移動しないでください。電源コードとインターフェースケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- コダックが推奨する清掃手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品向けの製品安全データシート (MSDS) は、コダックのウェブサイト www.kodak.com/go/msds でご利用できます。ウェブサイトからMSDSにアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。

ユーザーやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。これに限りませんが、注意事項として以下のものがあります。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折充分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーやその他機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含める様お願いします。

警告ラベル

注意：可動部品。触らないでください。

環境に関する情報

- *コダック*i3200/i3250/i3400/i3450 スキャナーは、世界的規模の環境要件を満たすように設計されています。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。リサイクルやリユースについては、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は、www.kodak.com/go/scannerrecycling を参照してください）。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄りのコダック代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- *コダック*i3200/i3250/i3400/i3450 シリーズスキャナーは国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合（EU）

このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集／回収プログラムの詳細については、最寄りのコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則（（EC）No.1907/2006）第 59（1）条の対象リストに含まれる物質については、www.kodak.com/go/REACH を参照してください。

騒音

Maschinenlarminformationsverordnung - 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance - 3, GSGV
操作者位置の騒音は 70dB（A）以下。]

EMC 声明

米国：この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、個人の住宅に取り付けた場合に、有害な干渉から適切に保護することをその目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置条件で、干渉が起こらないという保証はありません。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（装置をオン／オフすることで判定できます）、以下の複数の方法で障害を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機との距離を広げる
- 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する
- 取扱店または信頼できるラジオ／テレビ関係の技術者に問い合わせる。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント／アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国：この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론
모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本：この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビジョン受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しいインストールと運用を実施してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準
に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すること
を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して
使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

概要 1-1

インストール／はじめてのスキャン 2-1

スキャナーの調整 3-1

原稿の印字 4-1

メンテナンス 5-1

トラブルシューティング 6-1

付録

1 概要

目次

参考資料 1-1
アクセサリ 1-2
同梱品一覧 1-2
スキャナーのコンポーネント 1-3

コダック i3000 シリーズスキャナーはデスクトップ両面カラースキャナーです。次のモデルが提供されています。

- *コダック* i3200 スキャナーは横向き 200 dpi で白黒レターサイズの原稿を1分間で最大 50 ページスキャンできます。
- *コダック* i3250 スキャナーは横向き 200 dpi で白黒レターサイズの原稿を1分間で最大 55 ページスキャンできます。i3250 スキャナーにはフラットベッドが内蔵されており、最大 A4 / 210 x 297 mm の定型外原稿のスキャンが可能です。
- *コダック* i3400 スキャナーは横向き 200 dpi で白黒レターサイズの原稿を1分間で最大 99 ページスキャンできます。
- *コダック* i3450 スキャナーは横向き 200 dpi で白黒レターサイズの原稿を1分間で最大 90 ページスキャンできます。i3450 スキャナーにはフラットベッドが内蔵されており、最大 A4 / 210 x 297 mm の定型外原稿のスキャンが可能です。

この『ユーザーガイド』では、*コダック* i3000 シリーズスキャナーの使用手順およびメンテナンス手順について説明します。

注：スキャナーモデル間に差異がある場合は、注釈を加えています。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、以下の資料が用意されています。

- **インストールガイド／はじめてのスキャン** - スキャナーの設置からスキャンまでを順番に説明します。
- **スキャナーセットアップガイド** - *コダック* i3000 シリーズスキャナーには TWAIN データソースと ISIS ドライバが同梱されています。各スキャナーのセットアップガイドでは、基本的なイメージ処理機能の使用方法を説明します。両ガイドは PDF 形式でインストール CD に収録されています。ガイドは Web サイトからもダウンロード可能です。
- **Smart Touch ユーザーズガイド** - Smart Touch 機能の使用法方を説明します。このガイドは、インストール CD に PDF ファイルで収録されています。ガイドは Web サイトからもダウンロード可能です。
- **リファレンスガイド** - スキャナーの清掃手順を図解で示します。このガイドはスキャナーの側に置き、いつでも参照できるようにしてください。

Web サイト：www.kodak.com/go/docimaging

アクセサリ

i2900/i3000 シリーズスキャナー用 *コダック* プリンタアクセサリ - プリンタアクセサリを使用すると、スキャン原稿の裏面に情報を印字できます。プリンタは、スキャナーの最高速度で印字可能です。日付、時刻、カウンタ値、固定文字列を印字することができます。印字機能はすべて TWAIN または ISIS ドライバから設定できます。カタログ番号 132 4391

***コダック* A3 フラットベッドアクセサリ** - *コダック* A3 フラットベッドにより、*コダック* i3200/i3400 スキャナーで 11 x 17 インチ (A3) までの規格外の原稿をスキャンできるようになります。カタログ番号 189 4351

***コダック* リーガルサイズフラットベッドアクセサリ** - *コダック* リーガルサイズフラットベッドアクセサリにより、*コダック* スキャナーで規格外の原稿をスキャンすることができます。フラットベッドアクセサリ付属のケーブルで、フラットベッドをホスト PC に簡単に接続することができます。
カタログ番号 119 9470

***コダック* i3000 シリーズスキャナー用ドキュメントエクステンション** - 43.2 cm（17 インチ）以上の長さの原稿をスキャンすることができます。
パーツ番号 5K2230

同梱物一覧

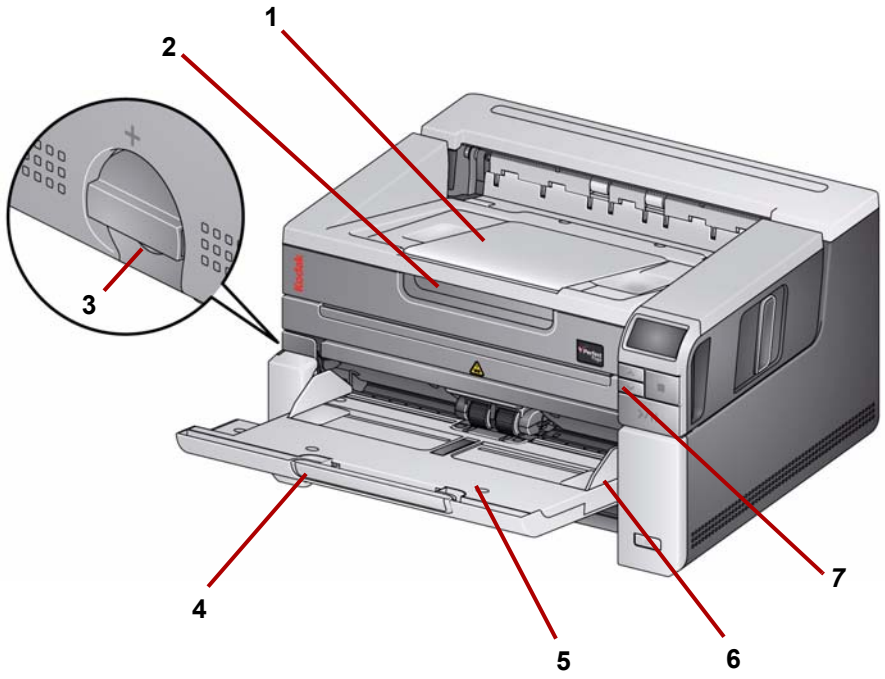
梱包品内容の確認

- *コダック* i3200, i3250, i3400 または i3450 スキャナー
- USB 3.0 ケーブル
- AC 電源コードバンドル（60 W 電源）
- その他の付属品：
  - インストール CD
  - アプリケーション CD
  - ユーザーズガイド（英語版）
  - リファレンスガイド
  - インストールガイド／はじめてのスキャン
  - クリーニングキットのサンプル
  - その他のパンフレット（「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません）

スキャナーのコンポーネント

前部

以下はコダック i3250/i3450 スキャナーのインストール手順です。コダック i3200 または i3400 スキャナーにはフラットベッドが含まれていません。特に指定がない限り、すべてのコンポーネントはすべてのスキャナーモデルに搭載されています。



1 **出力トレイエクステンション** - 出力トレイを伸ばすと、43.2 cm（17 インチ）までの原稿に対応できます。

2 **フラットベッドハンドル** *（コダック i3250/i3450 スキャナーのみ）* - はフラットベッドにアクセスし、定型外原稿、本、雑誌、ファイルフォルダなどのスキャンを可能にします。

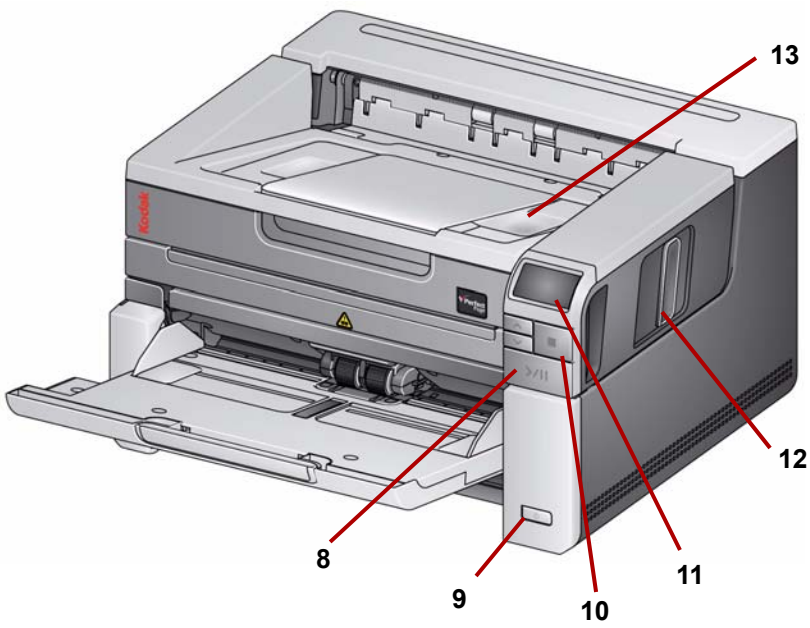
3 **ギャップリリース** - 特殊処理が必要な原稿のために、ダイヤルを縦に回して、フィードモジュールとセパレーションモジュール間にスペースを空けます。

4 **入力トレイエクステンション** - このエクステンションを引き出すと、27.94 cm（11 インチ）以上の長さの原稿をセットできます。

5 **入力トレイ** - 最大 250 枚までの原稿をセットできます（20lb./80 g/m^2 の場合）。未使用時は折りたためます。

6 **サイドガイド** - ガイドを内側か外側にスライドさせて、スキャンする原稿に合わせます。

7 **スクロールボタン** - 上下のスクロールボタンを押して、定義された機能やスキャン用のアプリケーションを選択します。



8 **ボタンを押すと、スタート／再開／一時停止ボタン** - スキャン開始 (>)、スキャン再開 (/)、スキャン一時停止 (II) を実行します。スキャナーの正常な状態（電源が入り、スキャナーの準備が完了している）を示す緑色の LED と、スキャナーのエラー状態（準備が不完全である、または、紙詰まりなどのエラー状態になっている）を示す赤色の LED があります。

9 **電源ボタン** - 数秒間電源ボタンを押したままにすると、スキャナーの電源が切れます。

10 **停止ボタン** - スキャンを停止します。

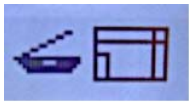
11 **オペレータコントロールパネル** - 1 ～ 9 とメッセージを表示します。番号は事前設定された機能に対応します。エラーが発生した場合、「**U**」または「**E**」が表示されます。詳細については、第 6 章を参照してください。

さらに、次のいずれかのアイコンが表示される場合があります。

原稿が入力トレイにあり、スキャナーは入力トレイからスキャンを行うことを示します。

***コダック** i3250/i3450 スキャナーのみ対応しています。*
入力トレイに原稿がない場合、本スキャナーは、お使いのスキャンアプリケーションでフラットベッドからスキャンを実行するオプションが設定されている場合、フラットベッドからスキャンを実行します。

スキャナーがオプションの *コダック* A3 またはリーガルサイズフラットベッドアクセサリに接続されており、原稿が入力トレイにある場合、スキャナーは入力トレイからスキャンを行います。



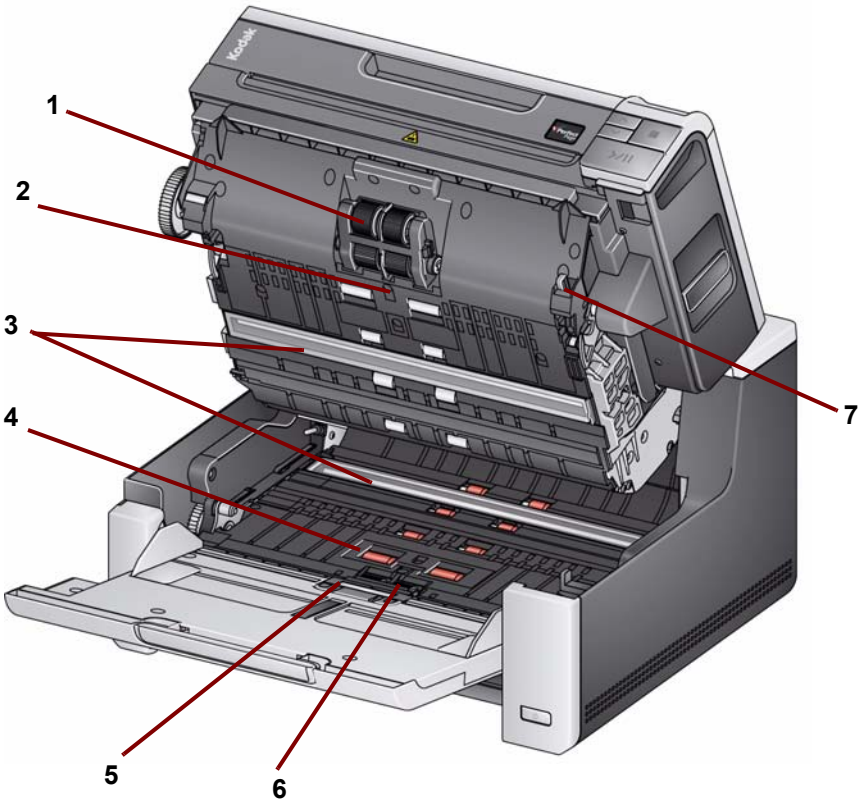
入力トレイに原稿がない場合、フラットベッドアイコンは強調表示されます。スキャンアプリケーションにフラットベッドのオプションが設定されている場合、原稿はフラットベッドからスキャンされます。

12 **スキャナーカバーリリースラッチ** - リリースラッチを手前に引くと、スキャナーカバーが開きます。

13 **出力トレイ** - スキャンされた原稿を積載します。

内部

スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引くと、以下のコンポーネントが見えます。



1 **フィードモジュール** - 様々なサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

2 **センサ** - 重送および搬送エラーを検出します。コダックのインテリジェントプロテクションは、原稿をダメージから保護します。この機能の詳細については、『スキャンセットアップガイド』を参照してください。

3 **イメージングガイド** - イメージ品質を最適に保つために、イメージングガイドは定期的にクリーニングしてください。

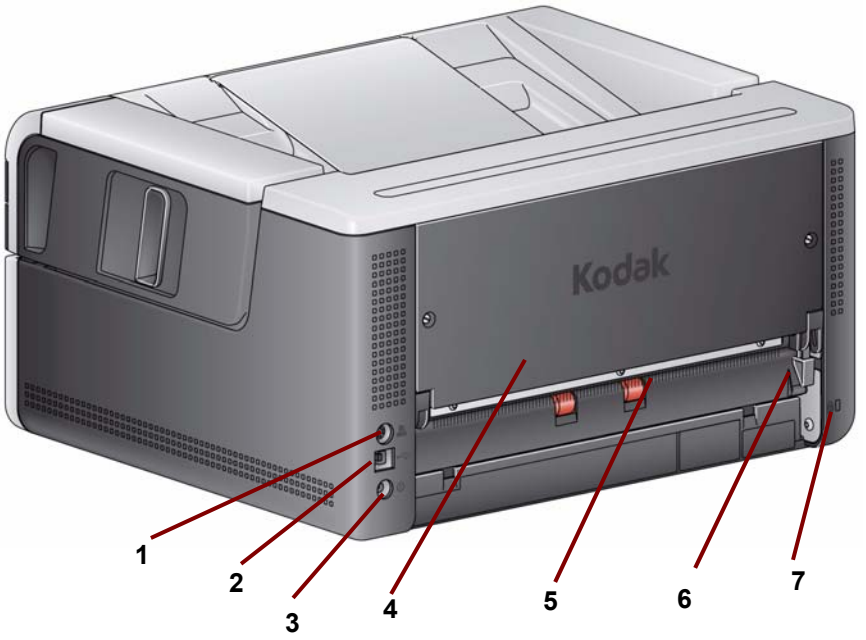
4 **フロントトランスポートローラ** - スキャナー内で原稿をスムーズに搬送します。

5 **用紙センサ** - 入力トレイにセットされた原稿を検出します。

6 **セパレーションモジュールおよびプリセパレーションパッド** - 原稿フィードを円滑に行い、様々なサイズ、厚さ、紙質の原稿を1枚ずつフィードします。

7 **フィードモジュールリリースレバー** - フィードモジュールまたはフィードモジュールタイヤを交換する場合に、レバーを押してフィードモジュールを所定の位置から解除します。

後部



1 **プリンタポート** - *コダック*プリンタアクセサリをスキャナーに接続します。

2 **USB ポート** - スキャナーを PC へ接続します。

3 **電源ポート** - アダプタの電源コードをスキャナーに接続します。

4 **後部パネル** - *コダック*プリンタアクセサリの取り付け時に、このパネルは取り外しが可能です。

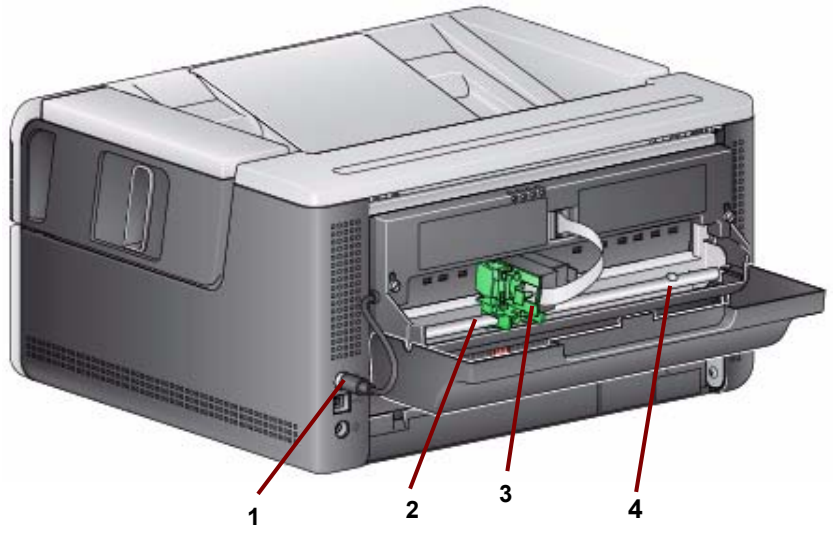
5 **後部排紙口** - 例外処理が必要な原稿をスキャナーの後部から排紙します。

6 **後部排紙切り替えスイッチ** - このスイッチを切り替えると、スキャナーの搬送路がストレートパスになり、後部排紙口から原稿が排紙されます。

7 **セキュリティロックポート** - セキュリティロックをスキャナーに取り付けます。セキュリティロックは、事務用品店などでお買い求めください。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。

別売のプリンタアクセサリ：プリンタアクセスカバー内部

下の図は、プリンタのコンポーネントを示します。取り付けの手順については、i2900、i3000 シリーズスキャナーのコダックプリンタアクセサリに同梱されている説明書を参照してください。



1 **プリンタケーブル** - このケーブルをスキャナーに接続して、プリンタと通信します。

2 **印字位置** - 11 か所の印字位置があります。

3 **インクカートリッジホルダ／カートリッジ** - スキャンした原稿の裏面に印字します。

4 **印字位置ネジ** - 11ヶ所の印字位置を使用する場合は、このネジを取り外します。ネジを取り外さない場合、使用できる印字位置は9ヶ所になります。

2 インストール／はじめてのスキャン

目次

セットアップ 2-1
ソフトウェアのインストール 2-1
スキャナーの接続 2-2
スキャン 2-3
省電力モードとスキャナーの電源を切る 2-5

設定

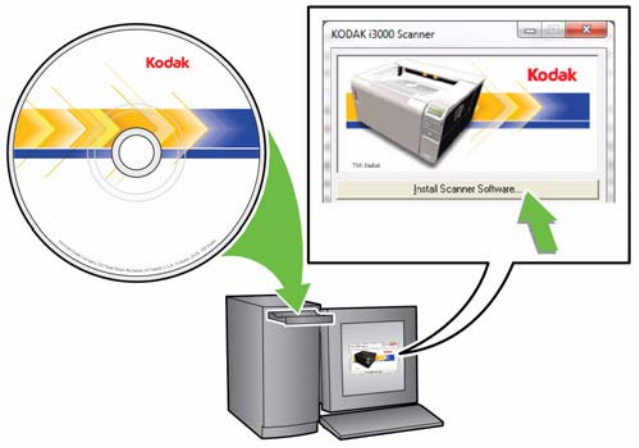
このセクションでは、スキャナーに付属の『*インストールガイド／はじめてのスキャン*』の詳細について説明します。順番に手順を実行して、スキャナーをインストールしてください。

注：

- 『*インストールガイド／はじめてのスキャン*』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。
- 後部排紙口または*コダック*プリンタアクセサリを使用する場合、スキャナーを設置するときに、スキャナーの後部に十分な空間を確保してください。

1 ソフトウェアのインストール

1. *コダック*i3000スキャナーのインストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。
2. **［スキャナーソフトウェアのインストール］**を選択します。



注：

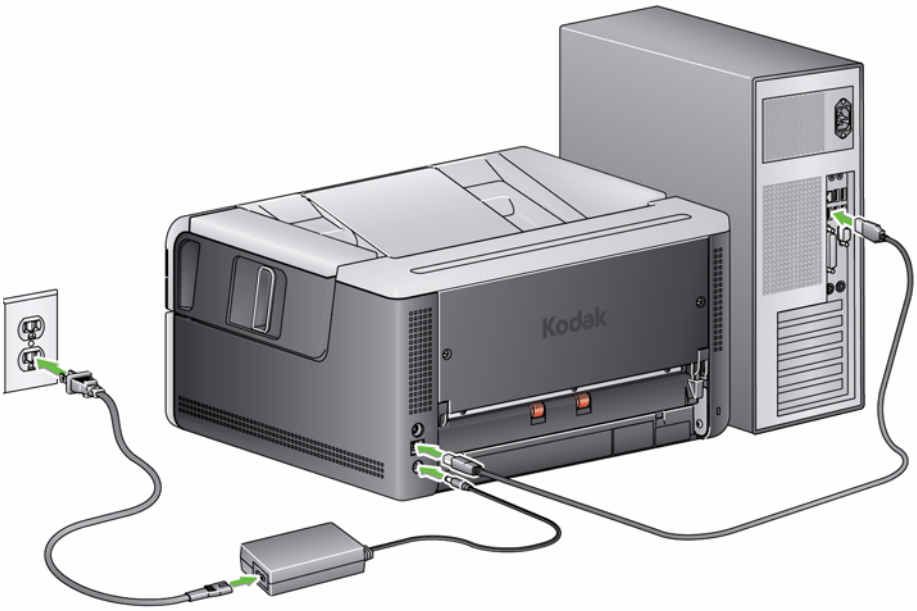
- CDが自動起動しない場合、デスクトップ上のマイコンピュータアイコンを開いて、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックし、**Setup.exe**をダブルクリックします。
- 「***Portions of this application are already installed***」（このアプリケーションは部分的にインストール済みです）というメッセージが表示されたら、**[*はい*]**をクリックしてインストール手順を続行します。これまでにインストールされたコダックスキャナーソフトウェアは更新され、このスキャナーでも共有されます。

3. ［ようこそ］画面が表示されたら、**[次へ]**をクリックします。
4. ソフトウェアライセンス使用許諾を読み、**[同意します]**をクリックします。インストールが始まり、進行状況が表示されます。
5. インストールが完了したら、**[完了]**をクリックします。
6. インストールCDをCD-ROMドライブから取り出します。

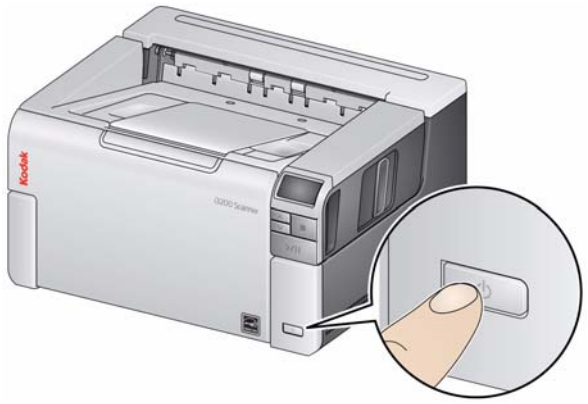
2 スキャナーの接続

ソフトウェアをインストールしたら、電源コードとスキャナーのUSBケーブルを接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーから1.52 m（5フィート）以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されているAC電源コードから、PSEマークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。
3. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。
4. USBケーブルをスキャナーのUSBポートに接続します。
5. USBケーブルのもう一方のコネクタをPCのUSBポートに接続します。



- **電源**ボタンを押します。



スキャナーが起動すると入力トレイが（閉じている場合は）開きます。**開始／再開／一時停止**ボタンの緑色のインジケータが点滅して、セルフテストを実行します。

15 秒以内で電源投入シーケンスが完了し、スキャナーの準備が整います。

インストールが完了してスキャンの準備が整うと、開始／再開／一時停止ボタンの緑色のLEDインジケータの点滅が点灯に変わります。オペレータコントロールパルに0、E、またはUが表示された場合、第 6 章の「LEDのエラーコード」のセクションで、そのコードの説明を参照してください。

3 スキャン

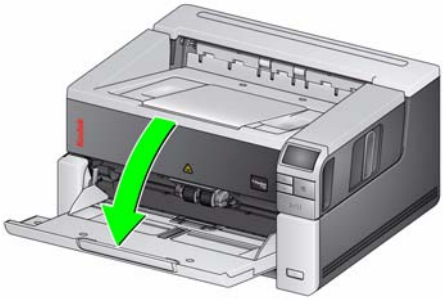
スキャナーの準備

1. スキャナーの電源が入っていて、スキャンの準備が完了している（スタート／再開／一時停止ボタンの緑色のインジケータが点灯している）こと、およびシステムトレイでSmart Touchスキャナーアイコンが準備完了になっていることを確認します。

   スキャナー準備完了

   注：

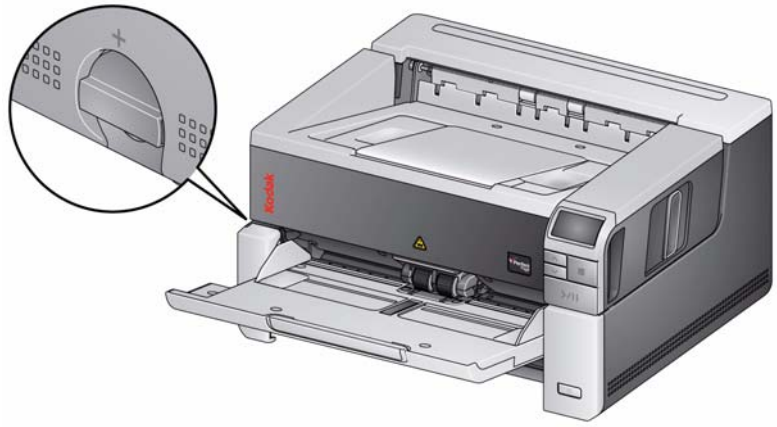
   - Smart Touchでは、一般的なスキャン作業をすばやく簡単に行うことができます。最高 9 つまでのタスクを割り当て、実行することができます。
   - スキャナーを使用していない場合、入力トレイは閉じることができます。スキャン時は、入力トレイが降りていることを確認してください。



2. 原稿に合わせて入力トレイのサイドガイドを調整します。第3章「入力／出力トレイの調整」を参照してください。
3. 使用するスキャンアプリケーションを選択します。スキャナーには、Smart Touch機能とコダックキャプチャデスクトップソフトウェアが付属しています。詳細については、第3章を参照してください。

原稿の準備

- 標準用紙サイズの原稿は簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えて入力トレイの中央に重ねます。これにより、原稿が 1 枚ずつスキャナーに送られます。
- ホチキスやクリップは、スキャン前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が破損する場合があります。
- スキャン開始前に、用紙上のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
- 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナーでは問題なくスキャンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿がスキャナーに取り込まれるか判断できない場合、フラットベッドを使用するか、または原稿を透明な保護用クリアシート等に入れて背面排紙口を使用してください。ギャップリリースか背面排紙口を使用しているときは、シートは 1 枚ずつ手動で端が閉じている方から給紙する必要があります。



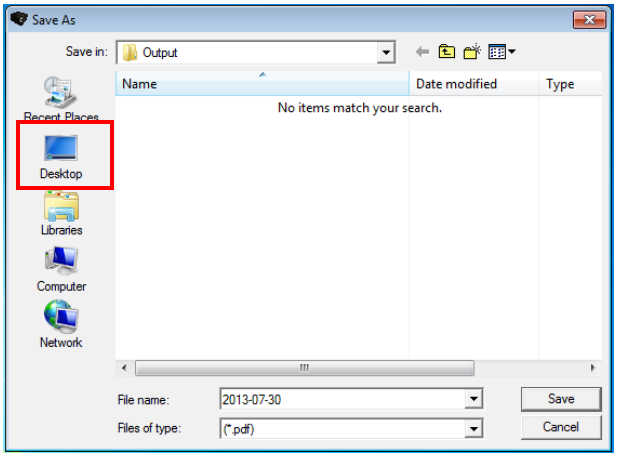
4. スキャンする原稿を入力トレイにセットします。片面の原稿をスキャンする場合は、必ずスキャンする面を上にします。

注：あまりにも厚い原稿や硬い原稿（封筒など）の場合は、以下の設定が必要になる場合もあります。

- フラットベッドか背面排紙口を使用します。
- ギャップリリースの使用。
- スキャナーの搬送速度の減速（400 dpi 以上でスキャンするなど）。

5. 「**1 - カラー PDF**」がオペレータコントロールパネルに表示されている場合は、**スタート／再開／一時停止**ボタンを押します。

原稿のスキャンが完了すると、［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。



6. ファイル名（たとえば、「My First Scan.pdf」）を入力して、ファイルを保存する場所（デスクトップなど）を選択し、**［保存］**をクリックします。

   ［保存］をクリックすると、確認のために原稿が表示されます。

   注：スキャンの要件に合わせてSmart Touchを設定できます。Smart Touchの詳細については、スキャナー付属のCDで*Document*フォルダを参照してください。

スキャナーの準備が完了しました。

省電力モードとスキャナーの電源を切る

省電力モード：デフォルトでは、15分間何も操作されないと、スキャナーは自動的に省電力モードになります。

省電力モードからスキャナーを復帰させる場合は、以下のいずれかを実行します。

- 上下のスクロールボタンを押します。
- スタート／再開／一時停止ボタンを押します。
- 入力トレイに用紙をセットします。

スキャナーの電源を切る：数秒間**電源**ボタンを押し続けます。デフォルトでは、60分以上省電力モードが続くと、スキャナーの電源は切れます。スキャナーの電源を入れ直すには、電源ボタンを押します。

3 スキャナーの調整

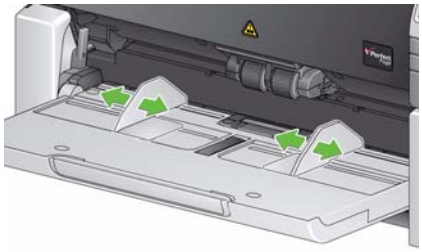
目次

入力／出力トレイの調整 3-1
フラットベッドスキャン 3-3
後部排紙口の使用 3-5
スキャンアプリケーションの選択 3-6

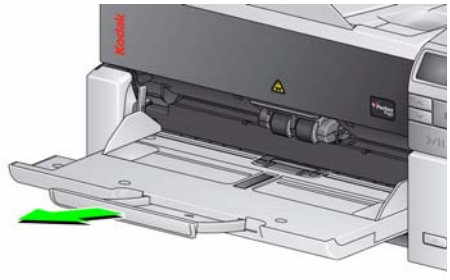
入力／出力トレイの調整

原稿に合わせて、入力トレイと出力トレイを調整することができます。

- **サイドガイドの調整** - サイドガイドを内側か外側にスライドさせて、原稿に合わせます。サイドガイドを調整する場合、トレイの溝の上のあたりで、サイドガイドの下部を指でつまむと良いでしょう。



- **原稿の長さに応じた入力トレイの調整** - 拡張入力トレイには 2 つの位置があります。レターサイズまたは A4 の原稿を横向きでスキャンする場合、入力トレイのエクステンションを引き出す必要はありません。
  - **原稿が最長 27.94 cm（11 インチ）の場合** - エクステンションを 1 番目の位置まで引き出します。
  - **原稿の長さが 27.94 ～ 43.2 cm（11 ～ 17 インチ）の場合** - エクステンションを最長の位置まで引き出します。

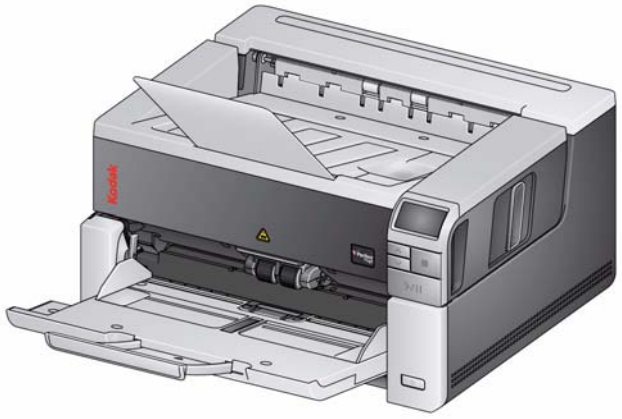


  - **長さ 43.2 cm（17 インチ）以上の原稿** - 43.2 cm を超える長さの原稿をスキャンする場合、スキャナードライバでその長さに対応するように設定する**必要があります**。（TWAIN ドライバ）［デバイス - 一般］タブの［**最長原稿サイズ**］オプションまたは（ISIS ドライバ）［スキャナー］タブの［**最長原稿サイズ**］オプションが、スキャンする原稿より長く設定されていることを確認してください。

注：

- 43.2 cm（17 インチ）以上の原稿をスキャンする場合、オペレータによる補助が必要になる場合があります。
- 43.2 cm（17 インチ）以上の長さの原稿をスキャンする場合は、ドキュメントエクステンションを使用してください。詳細については、第 5 章「アクセサリと消耗品」を参照してください。

- **原稿の長さに応じた出力トレイの調整** - 27.94 cm（11 インチ）以上の長さの原稿をスキャンする場合、ドキュメントエクステンションを開きます。



- **原稿の重量** - 入力エレベータに搭載できる原稿の最大重量は 20# ボンド普通紙 250 枚に相当する重量です。

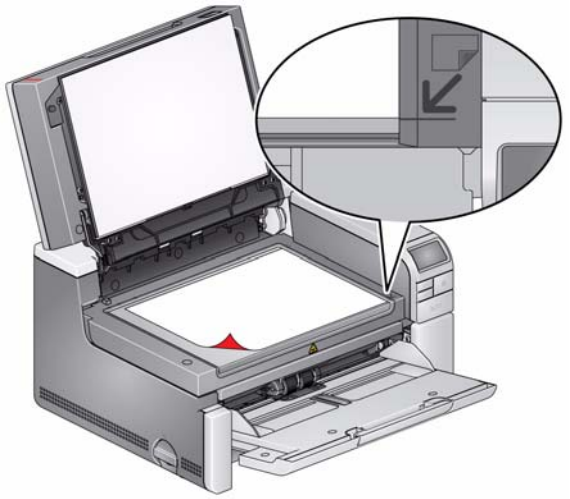
フラットベッドスキャン

(i3250/i3450 スキャナーのみ)

フラットベッドは、定型外原稿、ファイルフォルダ、本、雑誌、パスポートなどのスキャンに使用できます。

1. フラットベッドカバーを開きます。

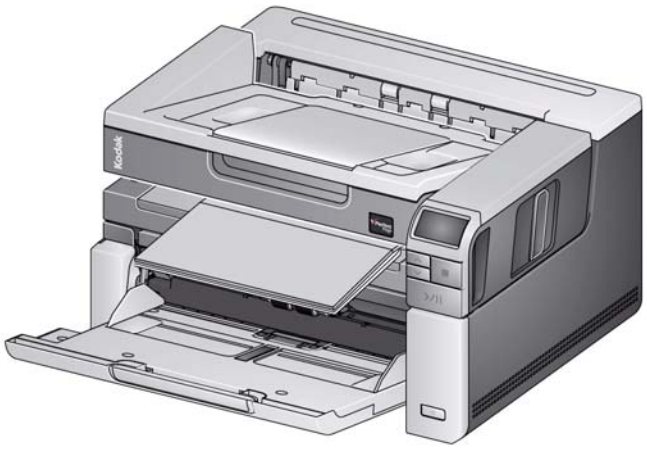
2. プラテンガラス上に原稿の表面を**伏せて**セットします。



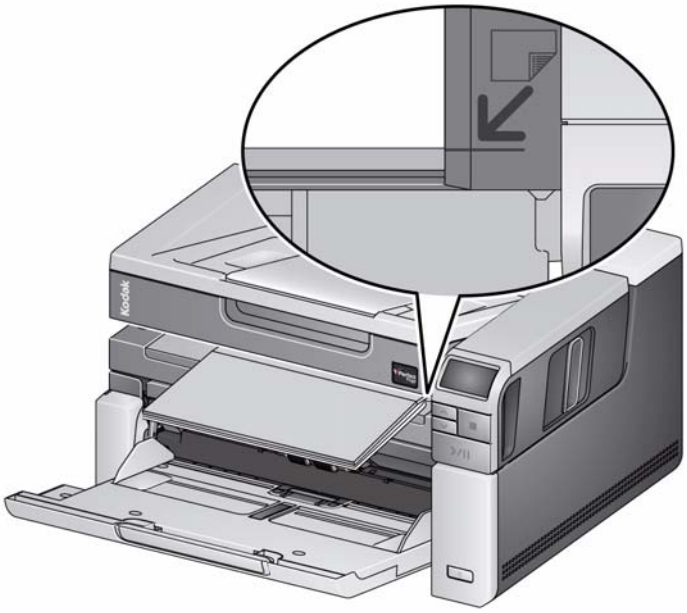
3. 原稿を右下角のコーナー矢印に合わせます。
4. フラットベッドカバーを閉じます。
5. **開始／再開／一時停止** ボタンを押してスキャンを開始します。

注：

- フラットベッドからスキャンするときは、スキャナーの入力トレイに原稿がないことを確認してください。
- 入力トレイとフラットベッドに原稿がある場合に［スキャン］ボタンを押すと、スキャナーは入力トレイからのみスキャンを行います。フラットベッドからスキャンを行うには、［スキャン］ボタンをもう一度押す必要があります。
- フラットベッドから原稿／本をスキャンするときは、フラットベッドカバーが閉じていることを確認してください。カバーは自動的に原稿／本の厚さに調整されます。



- フラットベッドに原稿／本を置くと原稿がフラットベッドの端まで広がることがあります。しかし、フラットベッドはフラットベッドガラスのフレーム上の線に合わせた情報のみスキャンします。



- フラットベッド カバーのホワイトバックグラウンドに汚れやしわがないことを確認します。欠陥があると自動クロッピングの精度に影響する場合があります。

後部排紙口の使用

例外処理を必要とする原稿（破損しやすい原稿、封筒など）は後部排紙口から出力できます。この排紙口によって原稿をストレートパスで搬送するので、紙詰まりを抑えます。

後部排紙口を使用するには、背面排紙口のレバーを引き上げます。

後部排紙口は、以下の場合に使用します。

- 原稿が硬いため、搬送路でターンできずに紙詰まりが発生する（オペレータコントロールパネルには「U9」が表示されます）。
- 原稿が破損しやすいため、曲げずにスキャンする必要がある。
- 排紙後の原稿の順番が重要ではない。
- スキャン後に原稿が不要になるため、直接リサイクル分別箱に入れる。
- 写真をスキャンする。

注：

- スキャン終了後は、後部排紙口のレバーを必ず元の位置まで引き下げてください。
- このオプションを使用する場合、スキャナーの後部に原稿を排紙するのに十分なスペースを確保してください。
- 複数枚の原稿のスキャンに後部排紙口を使用する場合、排紙後は原稿の順番が給紙と逆になります。
- 後部排紙口を使用している場合、原稿の印字オプションは使用できません。

スキャンアプリケーションの選択

コダックでは、スキャナーにSmart Touch機能と*コダック*キャプチャデスクトップソフトウェアの2つのスキャンアプリケーションを添付しています。

Smart Touch機能は、*ボタンを押すだけで*任意の設定をロードして原稿をデジタル化します。Smart Touch機能で原稿を以下の様に処理します。

- 選択した特定の場所にファイルを保存
- e-メールにイメージファイルを添付
- MS SharePoint Serverにアップロード
- プリンタで印刷
- デスクトップアプリケーションに出力

PDF、TIFF、JPEG、RTF、BMP、サーチャブルPDFなど、様々な一般的ファイルフォーマットで出力します。

予め設定された9種類のタスクのショートカットを用意しています。ショートカットを修正して名前を変更し、独自のタスクを作成できます。保存先に格納する前に、イメージをプレビューして簡単に編集（ズーム、回転、クロップなど）できます。

Smart Touchの詳細については、スキャナー付属のCDの*Document*フォルダ内の資料を参照するか、www.Kodak.com/go/smarttouchにアクセスしてください。

コダックキャプチャデスクトップソフトウェア - 直観的で使いやすいスキャンアプリケーションです。スキャンした原稿の処理と共有をシンプルにすることを重視して設計されました。**コダック**キャプチャデスクトップソフトウェアはすぐに使用でき、1枚の原稿から大規模なバッチまで、分散／部門ごとの環境でスキャン、編集、イメージ出力ができます。

簡単で生産的なスキャンに必要な機能を持つ*コダック*キャプチャデスクトップソフトウェアは、イメージやデータの高度なスキャン自動化機能を多数搭載している*コダック*キャプチャプロソフトウェアのインターフェースとデザインを共有しています。

アイコンベースのツールなどの機能一式を取り揃えた*コダック*キャプチャデスクトップソフトウェアは、シンプルなスキャンを実現します。すばやく、簡単なスキャン出力から、サーチャブルPDFの作成や、Microsoft SharePointなどの共有先へ情報を統合できます。

*コダック*i3000スキャナーでは、*コダック*キャプチャプロソフトウェアも使用できます。詳細については、www.Kodak.com/go/capturepro を参照してください。

*コダック*i3000シリーズスキャナーは、他メーカーのスキャンアプリケーションでもサポートされています。アプリケーションのサポートについては、各メーカーにお問い合わせください。

4 原稿の印字

目次

プリンタの仕様 4-2
インクカートリッジの取り付け／交換 4-3
印字位置の変更 4-5
問題の解決 4-6

この章では、i2900、i3000 シリーズスキャナーで**コダック**プリンタアクセサリを使用する方法について説明します。プリンタオプションを使用するには、*コダック*プリンタアクセサリを別途購入し、インストールする必要があります。

注：プリンタアクセサリに付属している説明書を読んで、このアクセサリの取付け手順を確認してください。

プリンタの使用および設定の詳細については、CD に収録されている *TWAIN または ISIS ドライバの『スキャンセットアップガイド』*、ご使用のスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

プリンタアクセサリは、スキャナーの最高速度で動作します。日付、時刻、カウンタ値、固定文字列を印字することができます。

印字文字列はバッチ名、オペレータ名など、どの原稿に対しても同じになる固定情報と、原稿のシーケンシャルカウンタなど、スキャンするページごとに異なる可変情報の両方を組み合わせて設定できます。

印字機能はすべて TWAIN または ISIS ドライバから設定できます。

注：

- スキャンセッションを開始する前に予めプリンタを有効にして、インクカートリッジを取り付けておく必要があります。
- プリンタ使用時は、スキャナーの搬送路を毎日清掃してください。
- プリンタを有効に設定してスキャンするときに、インクカートリッジを装備していないと U2 のエラーが表示されます。
- 後部排紙口を使用している場合、原稿の印字は使用できません。

プリンタの仕様

以下の仕様の詳細については、TWAIN または ISIS ドライバの『スキャンセットアップガイド』を参照してください。

項目	仕様
最大行数	1
最大文字数	40 文字（スペースを含む）
印字位置（横方向）	11ヶ所、手動設定 注：11ヶ所の印字位置ネジを取り外す必要があります。取り外さない場合、9ヶ所しか使用できません。詳細については、「印字位置の変更」を参照してください。
印字位置（垂直方向）	スキャンアプリケーションで設定
印字方向	0 度、90 度
フォントサイズ	標準、太字、極太 注：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない場合もあります。
印字面	裏面（スキャン後）
原稿の先端からの最小印字開始位置	0.89 cm（0.35 インチ）
インクカートリッジ	黒：HP-C6602A 赤：HP-C6602R
インクカートリッジ 1 個あたりの印字可能文字数	1,500,000 ～ 2,000,000（使用するフォントサイズ等に依存）
使用可能な固定文字列	スキャンソフトウェアを使ったユーザー指定のメッセージ
使用可能な可変文字列	最大 9 桁のドキュメントカウンタ、日付、4 桁の時刻
サポート言語	以下の言語に対応。例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語（半角カナ）

インクカートリッジの取り付け／交換

注意：スキャンの実行中は、プリンタの調整やメンテナンスを行わないでください。

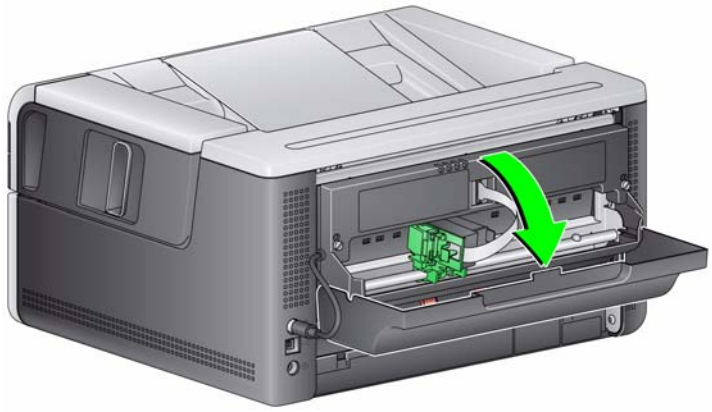
プリンタを使用する前に、インクカートリッジを取り付けてください。消耗品の注文については、第5章の「アクセサリと消耗品」を参照してください。

取り付け後、以下の状況が発生した場合は、インクカートリッジを交換する必要があります。

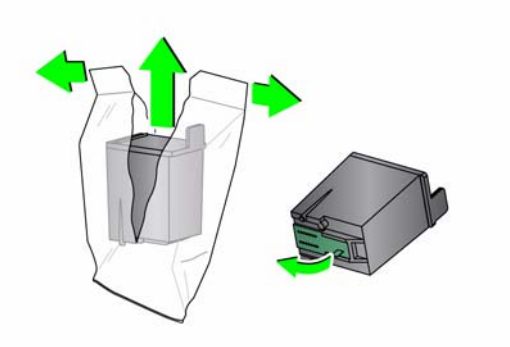
- 印字が薄かったり、濃度が不均一な場合
- 文字が欠落している、または明らかに印字品質にばらつきがある場合
- クリーニングを実施しても印字品質が向上しない場合

重要：空のインクカートリッジの廃棄は、国や地域の規程に従ってください。

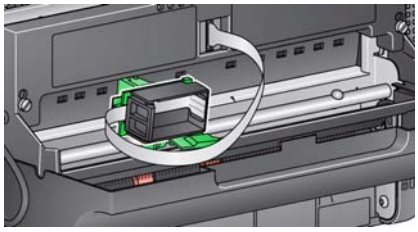
1. プリンタドアを開きます。



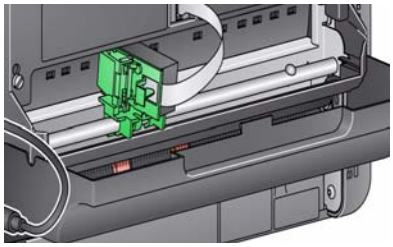
2. 大容量インクカートリッジのパッケージを開き、インクカートリッジからシールをはがします。



3. インクカートリッジホルダが「取り付け」位置にない場合、キャリアを「取り付け」位置に回します。

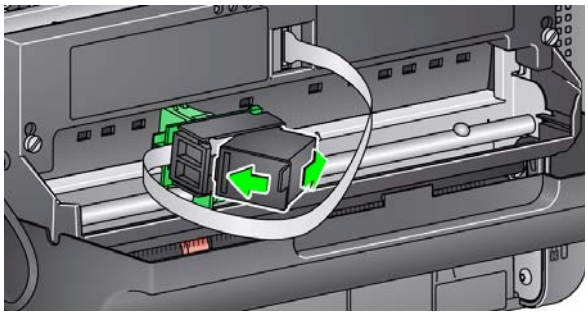


取り付け位置

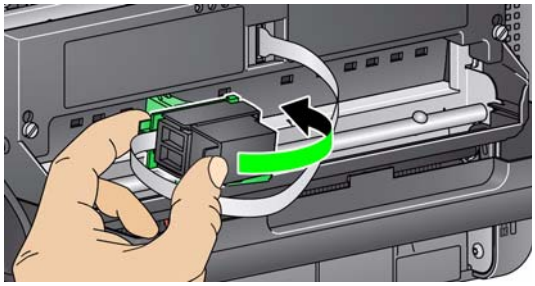


印字位置

4. 図の様に、インクカートリッジをプリンタキャリアに取り付けます。



5. 緑色のリリースタブを押して、インクカートリッジホルダを「印字」位置まで回わします。

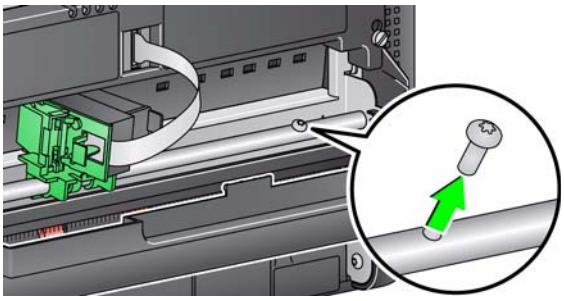


6. インクカートリッジホルダを印字位置に移動します。この章の後半にある「印字位置の変更」を参照してください。
7. プリンタドアを閉じます。

   注：プリンタドアが閉まらない場合は、インクカートリッジホルダが印字位置にあることを確認してください。

印字位置の変更

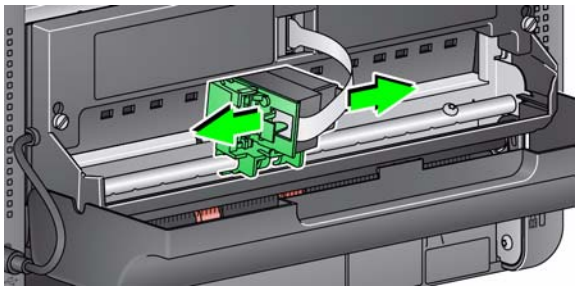
11 ヶ所の印字位置を使用する場合は、印字位置ネジを取り外す必要があります。ネジを取り外さない場合、使用できる印字位置は9ヶ所になります。



印字の横位置は手動で変更する必要があります。

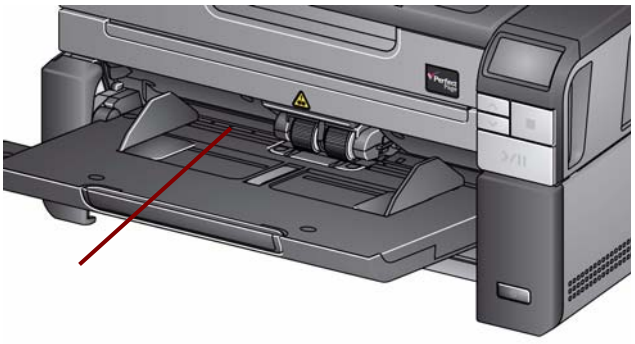
1. プリンタ ドアを開きます。
2. インクカートリッジホルダを適切な印字位置に移動します。

   重要：印字位置を変更する場合、インクカートリッジホルダが特定の印字位置（つめの位置）にしっかり固定されていることを確認することが重要です。インクカートリッジホルダを印字位置に移動すると、インクカートリッジホルダがカチッとはまることがわかります。



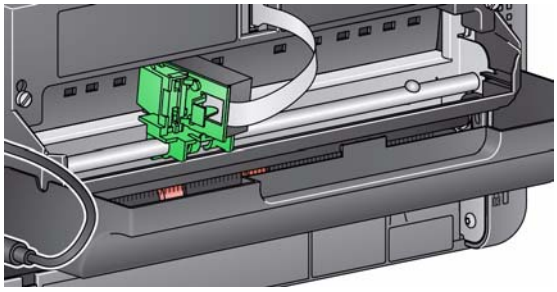
3. プリンタ ドアを閉じます。

注：入力トレイ奥の印字位置インジケータで横位置を確認できます。



問題の解決

プリンタ使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

問題	解決方法
印字の品質が悪いまたは一定していない	• インクカートリッジが空でないことを確認します。 • インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 • インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。 • スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっているか、また印字文字列が指定されているか確認します。 • プリンタコネクタが確実に固定されていて、プリンタケーブルがしっかりと取り付けられているか確認します。 • プリントヘッドをクリーニングします（下の「プリントヘッドの乾燥による印字開始時の問題」を参照）。
プリントヘッドの乾燥による、印字開始時の問題	インクカートリッジホルダからインクカートリッジを外し、インクカートリッジのインクジェット部分を柔らかい布や綿棒で軽く叩いた（注：拭かないでください）後に、インクカートリッジを取り付け、再度実行してください。
印字しない	• スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっていることを確認します。 • 目的の印字位置に、インクカートリッジ／インクカートリッジホルダが正しく取り付けられていることを確認します。 • プリントヘッドからテープが外されていることを確認します。 • プリンタアクセサリが外れていないことを確認します。
印字の時にオペレータコントロールパネルに U2 が表示される	• プリンタアクセサリまたはインクカートリッジが取り付けられていません。
インクがスキャナーの裏側に噴射されている	• インクカートリッジホルダが印字位置に固定されていることを確認します（この章の前半にある「印字位置の変更」を参照してください）。
プリンタドアが閉じない	• インクカートリッジホルダが「印字」位置にあることを確認します。 

5 メンテナンス

目次

クリーニング用品 5-2
スキャナーカバーの開け方 5-2
清掃手順 5-3
　ローラの清掃 5-4
　セパレーションローラタイヤの清掃 5-4
　フィードモジュールタイヤの清掃 5-5
　バックグラウンドストリップの清掃 5-5
　イメージングガイドの清掃 5-5
　フラットベッドのガラスのクリーニング 5-6
　トランスポートクリーニングシートの使用 5-7
　清掃の最終手順 5-7
交換手順 5-8
　フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換 5-8
　セパレーションローラの交換 5-10
　セパレーションローラタイヤの交換 5-10
　フロントトランスポートローラの交換 5-11
　プリセパレーションパッドの交換 5-12
　バックグラウンドストリップの交換 5-12
　フラットベッドバックグラウンドの交換 5-13
アクセサリと消耗品 5-14

この章では、*コダック*i3200/i3250/i3400/i3450 スキャナーに必要な清掃とメンテナンスの手順について説明します。これらの手順の頻度はスキャン環境、用紙、イメージ処理の要件によって異なります。スキャンの量が多い場合、スキャナーの清掃および消耗品交換の頻度も多くなります。コダックは、スキャンが実際に使われている現場に長年立ち会ってきました。その経験から、スキャナーの正しい清掃とメンテナンスによって、より少ない時間でより多くの原稿をスキャンでき、問題も未然に防ぐことを確認しています。正しくメンテナンスをすれば、*コダック*i3200/i3250/i3400/i3450 スキャナーを長期間に渡って問題なく使用できます。

スキャナーの消耗品（タイヤ、プリセパレーションパッドなど）およびクリーニング用品は販売代理店から購入できます。消耗品はキットとして販売されています。これらのキットではタイヤ、ローラ、プリセパレーションパッドなどが適切に組み合わされているため、推奨頻度で簡単に交換できます。たとえば、タイヤを交換してもセパレーションローラアッセンブリを交換しなければ、スキャナーの処理能力は必然的に低くなります。消耗品を推奨頻度で交換することで、処理能力を最大限に発揮できます。

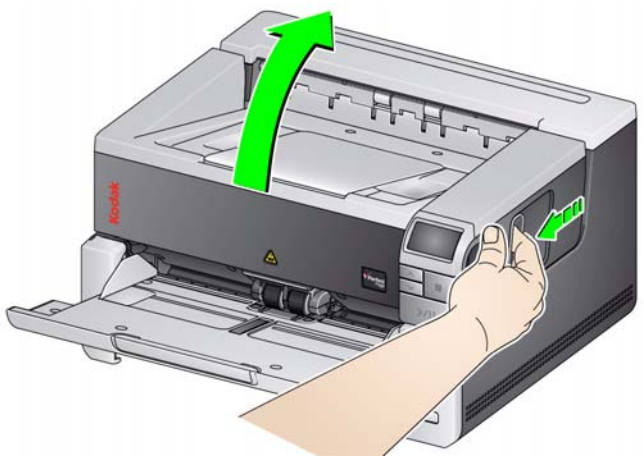
クリーニング用品

スキャナーの日常的なメンテナンスを行うときには、以下の清掃用品のみを使用してください。他の清掃製品を使用すると、スキャナーが損傷する場合があります。

- コダックトランスポートクリーニングシート
- コダックローラクリーニングパッド
- コダック静電クリーニングクロス
- 掃除機およびツール

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 入力トレイ、出力トレイ、搬送路から原稿を取り除きます。
3. スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引きます。スキャナーカバーが少し開きます。上部カバーの中央をつかんで、内部コンポーネントにアクセスできるよう完全に開きます。



4. スキャナーの清掃や消耗品の交換が終わったら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

清掃手順

最適な画質を保つには、定期的にスキャナーを清掃して予防的なメンテナンスを施す必要があります。

原稿の種類によっては紙粉やゴミが通常より多く発生するため、清掃の頻度を上げる必要があります。

スキャナーの清掃や消耗品を交換する前に、以下を参照してください。

- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのカスは必ずしもタイヤの磨耗や損傷を意味するものではありません。清掃後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレーションローラ、フィードモジュール、またはタイヤを交換してください。
- ローラやタイヤの清掃後は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。他の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
- 窓を締め切った部屋でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
- 高温面にクリーナを使用しないでください。清掃前に、室温になるまで面を冷ましてください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。圧縮空気を使用すると、紙粉がスキャナーのイメージングシステムに入り込んで画質の問題を引き起こし、カメラを取り外さない限りクリーニングできません。
- スキャナーの近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
- 推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。
- 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。MSDS は、コダックの Web サイト **www.kodak.com/go/MSDS** から手に入れることができます。

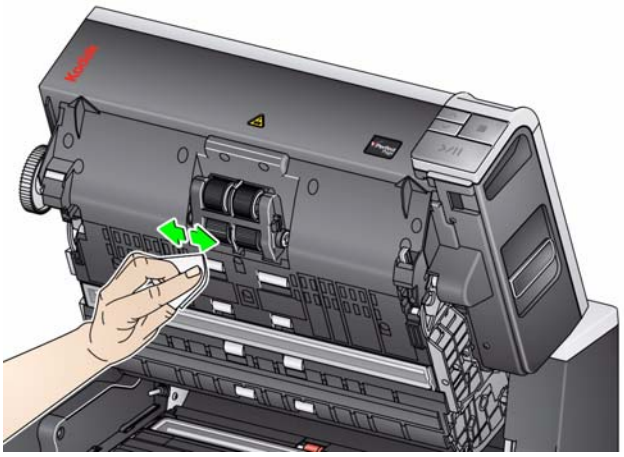
  注： MSDS にアクセスするには、消耗品のカタログ番号が必要です。カタログ番号については、本章後半の「アクセサリと消耗品」を参照してください。

- ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS を参照してください。

セパレーションローラタイヤの清掃

ローラを清掃する場合、搬送部のローラ、セパレーションローラ、フィードモジュールのタイヤをすべてクリーニングします。

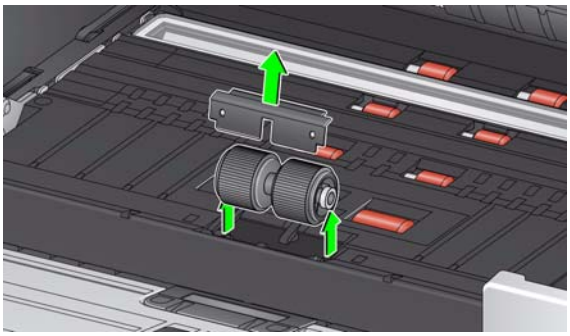
1. スキャナーの電源を切り、スキャナーのカバーを開きます。
2. ローラを手で回しながら、ローラクリーニングパッドで汚れを拭き取ります。



3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

セパレーションローラタイヤの清掃手順

4. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。
5. セパレーションローラを取り外します。



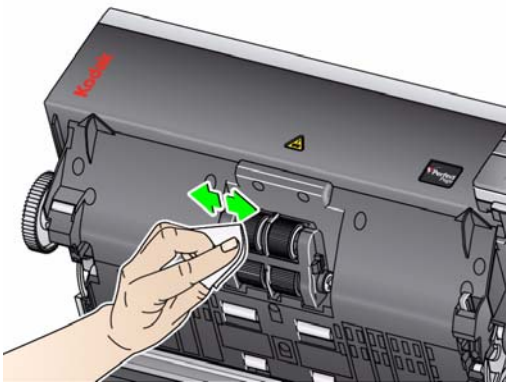
6. セパレーションローラタイヤを手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭いてください。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。

7. タイヤを点検します。タイヤに消耗または損傷している兆候がある場合は、セパレーションローラを交換します。後述の「交換手順」を参照してください。
8. セパレーションローラの溝とホルダを合わせて、ローラを取り付けます。

9. プリセパレーションパッドを元の位置に取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。

フィードモジュールタイヤの清掃

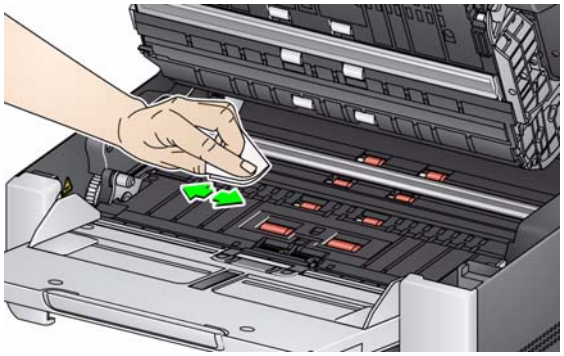
10. フィードモジュールタイヤは手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。タイヤの清掃時はフィードモジュールを取り外す必要はありません。



11. タイヤを点検します。タイヤに消耗または損傷している兆候がある場合は、フィードモジュールタイヤまたはフィードモジュールを交換します。後述の「交換手順」を参照してください。

バックグラウンドストリップの清掃

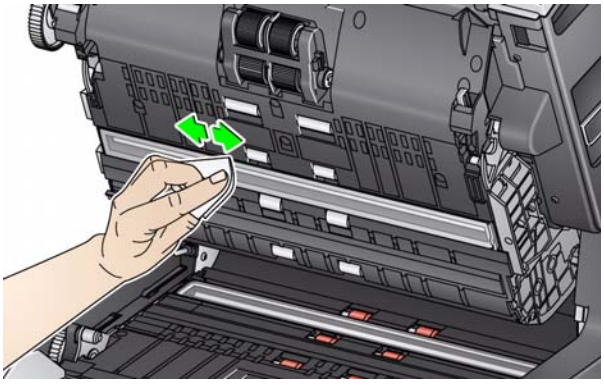
12. 上下のバックグラウンドストリップを静電クリーニングクロスで拭きます。



13. 乾いた静電クリーニングクロスを使って、上下のバックグラウンドストリップを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

イメージングガイドの清掃

14. 上下にあるイメージングガイドを静電クリーニングクロスで拭きます。



15. 乾いた静電クリーニングクロスを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

16. スキャナーカバーを閉めます。

17. すべてのクリーニングを完了したら、スキャナーを起動します。

フラットベッドのガラスのクリーニング
(i3250/i3450 スキャナーのみ)

フラットベッドのプラテンガラスには指紋や埃が付くことがあります。コダックスキャナー用静電クリーニングクロスを使用して、プラテンガラスをクリーニングしてください。

1. フラットベッドカバーを開きます。
2. 静電クリーニングクロスでプラテンガラスを拭きます。

3. 軽く湿った静電クリーニングクロスでプラテンガラスを乾拭きします。
4. フラットベッドカバーを閉じます。

重要：洗浄液をフラットベッドのプラテンガラスにスプレーしたり降りかけたりしないでください。これらの液体はガラスの下に浸透してスキャナーの故障の原因となります。

トランスポートクリーニングシートの使用

搬送路は、トランスポートクリーニングシートを数回通して清掃してください。

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を外します。
2. サイドガイドを最大幅まで広げます
3. 入力トレイの中央にトランスポートクリーニングシートを横長にセットします。このとき、粘着面を上にしてください。
4. トランスポートクリーニングシートをスキャンします。
5. 出力トレイからトランスポートクリーニングシートを取り出し、今度は粘着面を下にセットしてスキャンします。
6. 汚れがすべて取り除かれるまで、数回、手順 4 と 5 を繰り返してください。

注：このシートが汚れたり粘着力が低下したら、廃棄して新しいシートを使用します。

清掃の最終手順

トランスポートクリーニングシートによる清掃が完了したら、次の作業を実行してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. 上下イメージングガイドの表面を、チリの出ない布で拭きます。
3. スキャナーカバーを閉じて、テスト用原稿をスキャンして、画質を確認してください。

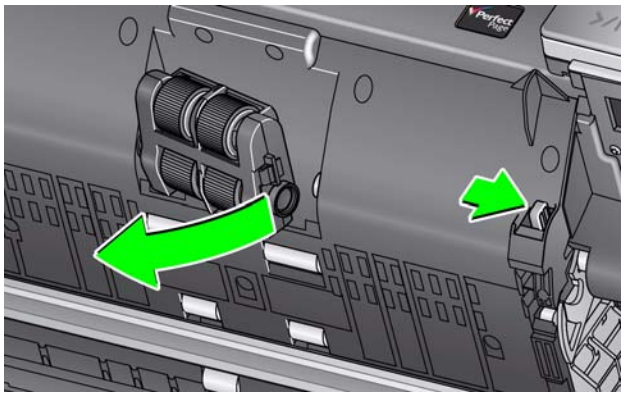
交換手順

ここでは、以下の部品の交換手順について説明します。交換頻度については、以下の説明を参考にしてください。

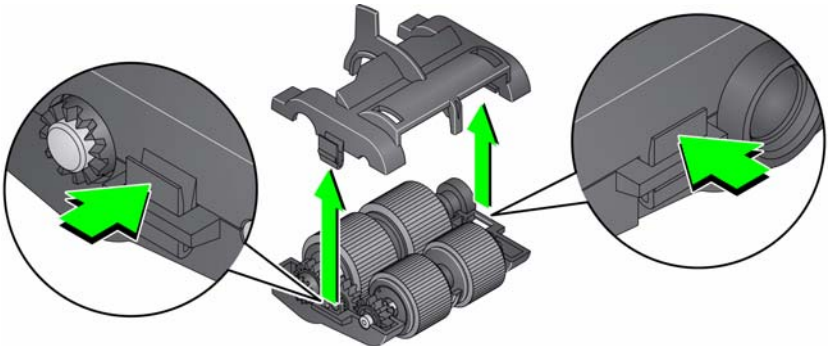
- **フィードモジュールタイヤ** - タイヤの寿命は、用紙の種類や環境、清掃頻度によって異なります。タイヤ寿命はおよそ原稿 500,000 枚ですが、実際は条件によって異なります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。
- フィードモジュール - 原稿 1,000,000 枚ごとに新しいフィードモジュールに交換してください。
- **プリセパレーションパッド** - セパレーションローラのタイヤまたはセパレーションローラを交換する毎に、または原稿 250,000 枚ごとに、プリセパレーションパッドを交換してください。
- **フロントトランスポートローラ** - ローラの寿命は原稿約 1,000,000 枚ですが、用紙の種類や環境、清掃頻度によって異なります。
- **セパレーションタイヤ** - タイヤの寿命は用紙の種類や環境、清掃頻度によって異なります。タイヤ寿命はおよそ原稿 250,000 枚ですが、実際は条件によって異なります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。
- **セパレーションローラ** - 原稿 500,000 枚ごとに新しいセパレーションローラに交換してください。

フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順

1. スキャナーカバーを開きます。
2. フィードモジュールリリースレバーを右に押して、フィードモジュールを外します。

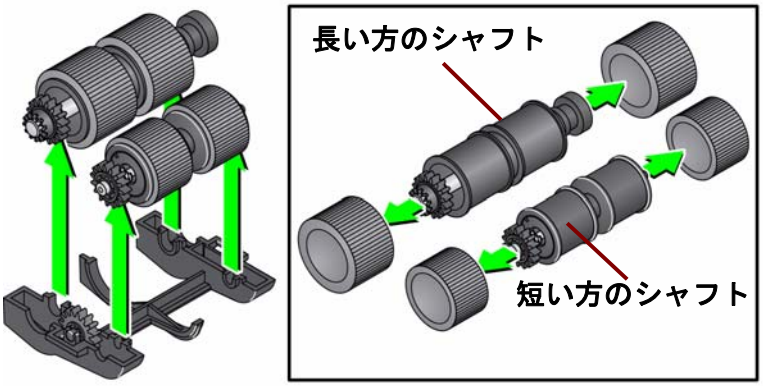


3. フィードモジュールを交換する場合は、手順 10 に進んでください。タイヤを交換する場合は、手順 4 に進んでください。
4. 片手で固定用のタブ（両側に 1 つずつあります）を押しながら、もう一方の手で下部のカバーを押さえます。上部のカバーを引き上げて、モジュールから取り外します。



5. タイヤの付いた軸を 2 つとも取り出します。

6. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。

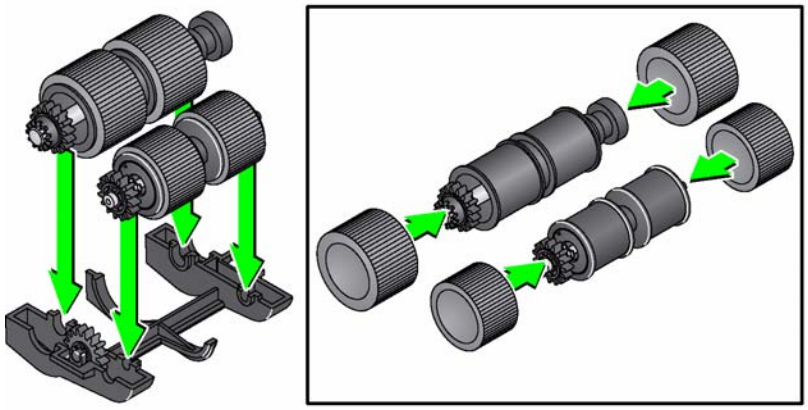


7. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。タイヤの取り付けに向きはありません。

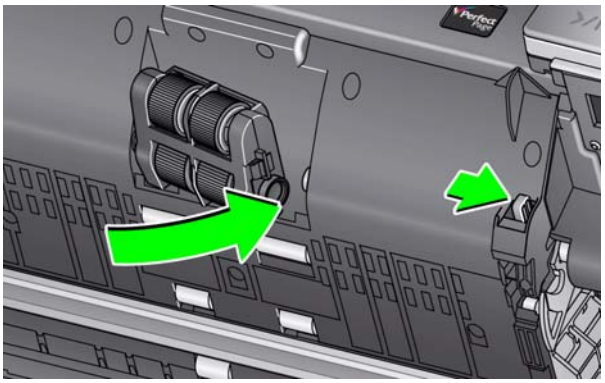
注意：タイヤを交換する際には、大きい方のタイヤを長い方のシャフトに、小さい方のタイヤを短い方のシャフトに必ず取り付けてください。

重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

8. 2 つの軸をフィードモジュール下部カバーへ取り付け、上部カバーのタブを下部カバーの溝へ合わせます。



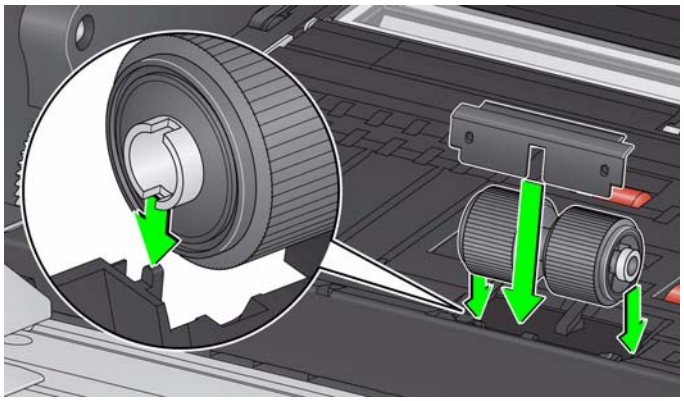
9. 所定の位置にカチッと収まるまで、上下のカバーを同時に押し込みます。
10. フィードモジュールリリースレバーを右に押しながら、フィードモジュールを所定の位置に挿入します。端が揃っていることを確認してから、フィードモジュールリリースレバーを戻します。フィードモジュールがしっかりと固定されていることを確認します。



11. スキャナーカバーを閉めます。

セパレーションローラの交換

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。続いてセパレーションローラを取り外します。
3. 新しいセパレーションローラを挿入します。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。



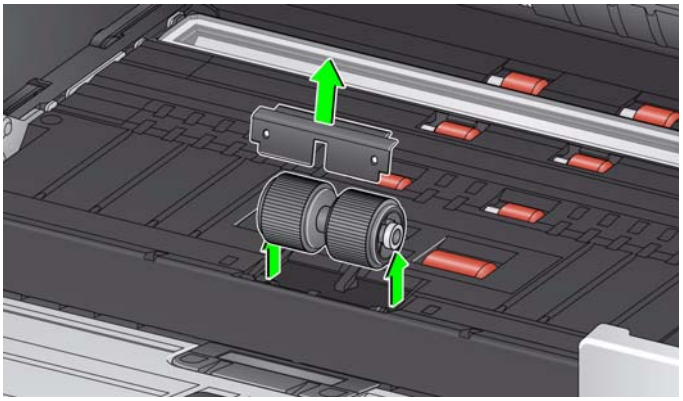
4. プリセパレーションパッドを元の位置に取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。

   注意：セパレーションローラまたはセパレーションタイヤを交換するときには、プリセパレーションパッドも交換してください。

5. スキャナーカバーを閉めます。

セパレーションローラタイヤの交換

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。続いてセパレーションローラを取り外します。



3. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。
4. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。

   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

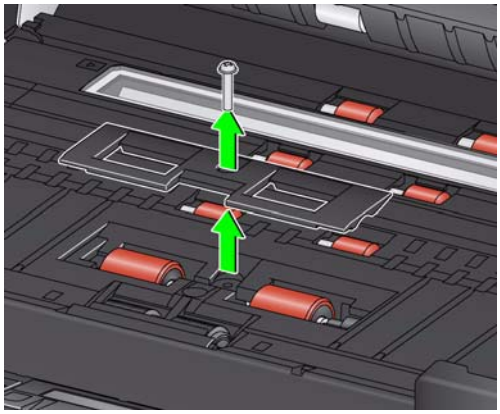
5. セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。
6. プリセパレーションパッドを元の位置に取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。

   注意： セパレーションローラまたはセパレーションタイヤを交換するときには、プリセパレーションパッドも交換してください。

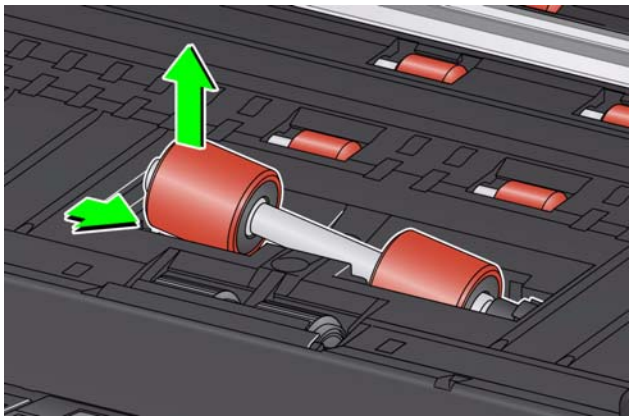
7. スキャナーカバーを閉めます。

フロントトランスポートローラの交換

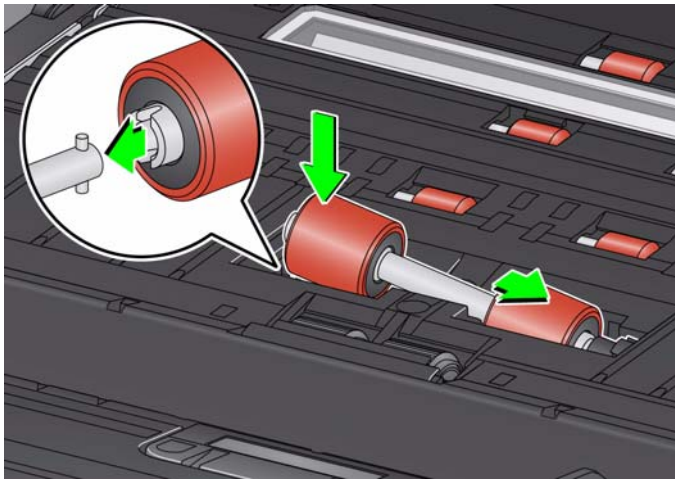
1. プラスドライバを使ってフロントトランスポートローラカバーの中央にあるネジをゆるめ、ネジとカバーを取り外し、ネジを横に置いておきます。



2. ローラを右側に押して、フロントトランスポートローラを取り外します。



3. 新しいフロントトランスポートローラを挿入して、フロントトランスポートローラの溝とホルダを合わせます。

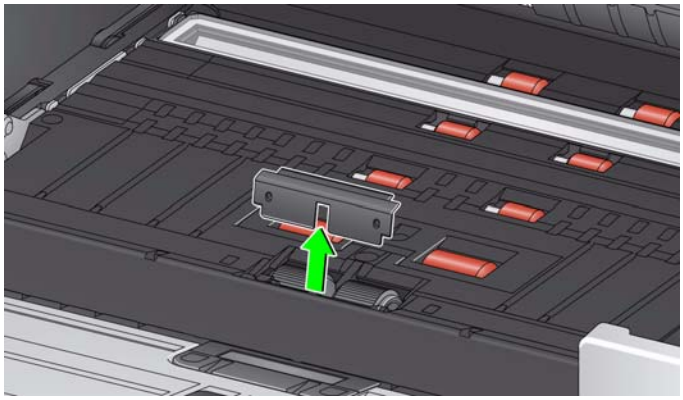


4. フロントトランスポートローラカバーを再び取り付けます。ネジは締めすぎないでください。

プリセパレーションパッドの交換手順

重送の頻度が多くなった場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを取り付け位置から持ち上げて取り外します。

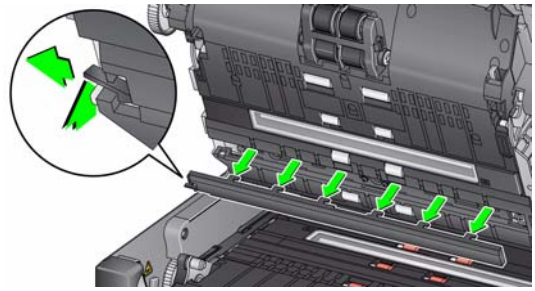


3. 新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。
4. スキャナーカバーを閉めます。

バックグラウンドストリップの交換

バックグラウンドストリップを交換するには、以下の手順に従ってください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. 上部バックグラウンドストリップの左側にあるタブを持ち上げ、所定の位置から引き上げた状態で、バックグラウンドストリップを左側に外します。



3. 新しいバックグラウンドストリップを右側に挿入し、タブを溝に合わせます。カチッと音がして定位置に収まるまで挿入してください。
4. 手順２～３を繰り返して、下部のバックグラウンドストリップを交換します。

   注意：下部のバックグラウンドストリップを交換する場合は、タブは右側にあり、ストリップは右側に外します。

5. スキャナーカバーを閉めます。

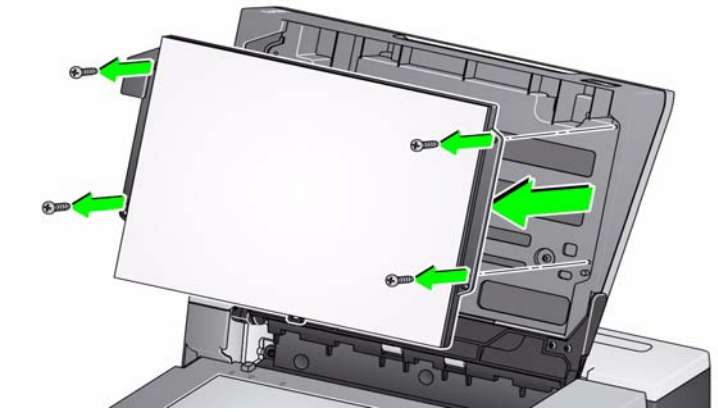
フラットベッドバックグラウンドの交換

(i3250/i3450 スキャナーのみ)

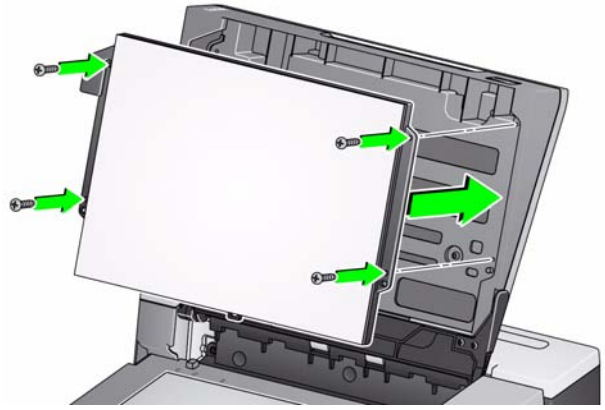
フラットベッドバックグラウンドは破損した場合や極度に汚れた場合に交換してください。クロッピングの問題がある場合は、バックグラウンドを点検し、必要に応じて交換してください。

注：交換作業中、フラットベッドバックグラウンドの取り扱いには注意してください。

1. フラットベッドカバーを開きます。
2. プラスドライバーを使用して、フラットベッドバックグラウンドを固定している 4 つのネジを緩めて取り外します。



3. 新しいフラットベッドを取り付け、フラットベッドバックグラウンドが固定されるまでネジを締めます。



アクセサリと消耗品

消耗品を注文する場合は、スキャナーの販売代理店に連絡するか、www.scannerstore.kodak.com にアクセスしてください。

消耗品	カタログ番号
i2900、i3000 シリーズスキャナー用コダックフィーダ交換キット	129 9676
i2900、i3000 シリーズスキャナー用黒バックグラウンド	136 4421
コダックトランスポートクリーニングシート（50 枚入り）	169 0783
コダックローラクリーニングパッド（24 枚入り）	853 5981
コダック静電クリーニングクロス（144 枚入り）	896 5519
プリンタインクカートリッジ黒	818 3386
プリンタインクカートリッジ赤	159 6832
i3000 シリーズスキャナー用フラットベッドバックグラウンド	176 3325
アクセサリ	**カタログ番号**
プリンタアクセサリ	132 4391
コダック A3 フラットベッドアクセサリ	189 4351
コダックリーガルサイズフラットベッドアクセサリ	119 9470
アクセサリ	**パーツ番号 ***
インクカートリッジホルダ	9E5146
ドキュメントエクステンション	5K2230

注：商品と CAT 番号は、変更される場合があります。アクセサリと消耗品の最新リストについては、www.kodak.com/go/scannersupplies にアクセスしてください。

6 トラブルシューティング

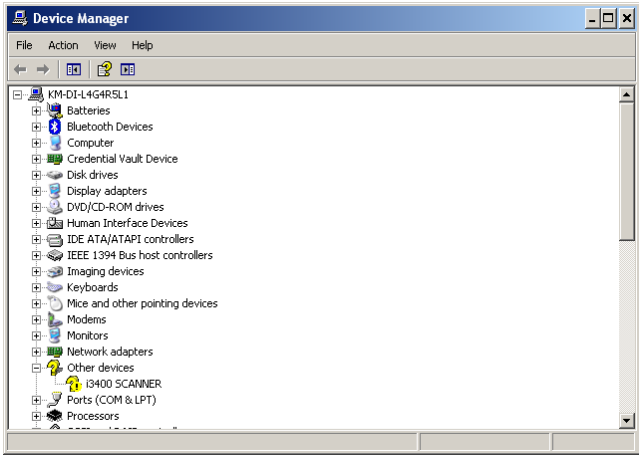
目次

問題の解決 6-1
インジケータライトとエラーコード 6-4
ソフトウェアのアップグレード 6-5
サービスセンターへの問い合わせ 6-5

問題の解決

次の表を参照して、*コダック*i3200/i3250/i3400/i3450 シリーズスキャナーの使用時に発生する問題の解決方法を確認してください。

問題	解決方法
紙詰まりになる。または原稿が重送する	以下の点を確認してください。 • すべての原稿がサイズ、重さ、種類など、付録 A の「*仕様*」の要件を満たしている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • すべてのローラとタイヤがクリーニングされ、セパレーションローラとフィードモジュールが適切に取り付けられている。手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。 **紙詰まりを解消するには**： • 入力トレイから原稿を取り除きます。 • スキャナーカバーを開きます。 • 紙詰まりしている原稿を取り除きます。 • スキャナーカバーを両手で閉じ、スキャンを再開します。
U9（紙詰まり）がオペレータコントロールパネルに表示される。給紙が停止しているが紙詰まりではない。	[*原稿管理*] を確認します。[デバイス - 一般] タブの **[最長原稿サイズ]** オプション（TWAIN ドライバ）または［スキャナー］タブの **[最長原稿サイズ]** オプション（ISIS ドライバ）を、スキャンする原稿よりも長く設定します。デフォルトは 43.2 cm（17 インチ）です。
スキャナーが原稿をスキャンまたは給紙しない	以下の点を確認してください。 • 電源コードが接続され、電源が入っている。 • 電源ボタンが押され、緑色のLEDが点灯している。 • スキャナーカバーが完全に閉じられている。 • 原稿がフィードモジュールに送られ、用紙センサを通過している。 • 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 • 原稿が厚い場合、ギャップリリースダイヤルを縦に回して、フィードモジュールとセパレーションモジュール間にスペースを空けます。 • フィードモジュールとセキュリティパレーションローラの磨耗状態を確認して、必要に応じて交換している。 また、スキャナーの電源をいったん落としてから、もう一度入れ直してみてください。
イメージ品質が悪い、劣化している	スキャナーとイメージングガイドが汚れていないか確認してください。詳細については、「第 5 章 *メンテナンス*」を参照してください。

問題	解決方法
スキャナーを起動すると、スキャナーとPC の通信切断を示す **0** がオペレータコントロールパネルに表示される	以下を試してください。 • USB ケーブルが正常に機能する状態で、PC と USB ポートに正しく接続されている。 • USB 2.0（またはそれ以降）接続を使用していることを確認してください USB 1.1 は使用できません。 • ソフトウェアがインストールされている。 • PC がスキャナーを認識している。 1. **［スタート］＞［設定］＞［コントロールパネル］＞［管理ツール］＞［コンピューターの管理］**をクリックして、［コンピューターの管理］ウィンドウを表示します。 2. **［デバイスマネージャ］**を選択して、ご使用の PC を選択します。  コダック i3200（または i3250/i3400/i3450）スキャナーが［*イメージングデバイス*］の下に表示されます。 3. **［操作］＞［ハードウェア変更のスキャン］**をクリックします。
紙詰まり、または重送の「誤検知」が起きる	• 搬送部が汚れていないか確認します。
27.94cm（11 インチ）以上の原稿が給紙されない、または詰まる	入力トレイと出力トレイのエクステンションが開いており、長い原稿を支えていることを確認してください。また、6-1 ページの*「問題」にある***「U9」***（紙詰まり）*を参照してください。
スキャナーの動作が遅すぎる	• PC がスキャナーの最低要件を満たしていない場合があります。 • イメージ処理機能の中には、スキャナーの速度が遅くなる機能もあります。 • 解像度 (dpi) の設定が高すぎる可能性があります。 • ウィルス対策ソフトウェアが、すべての TIFF、JPEG ファイルをスキャンしている可能性があります。 • ローカルドライブを格納先にしてスキャンしていることを確認してください。
スキャン中に原稿が斜めになる	以下の点を確認してください。 • 入力トレイのサイドガイドが給紙する原稿に合わせて調整されている。 • 原稿がフィードモジュールに対して垂直に給紙されている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • フィードモジュール、セパレーションローラ、ドライブローラが汚れていない。 • スキャナーカバーが完全に閉じられている。

問題	解決方法
スキャナーがスキャン中に長時間休止する	以下の点を確認してください。 • PC のスペックがスキャンの最小要件を満たしている。 • ハードディスクドライブに充分な空き領域がある。 • 他のアプリケーションをすべて終了している。 • USB 2.0 以上で接続している。 スキャンアプリケーションのスキャンオプション（圧縮など）を変更することもできます。
スキャンした原稿にローラの跡や筋が付く	フィードモジュール、トランスポートローラ、セパレーションローラ、タイヤを清掃します。詳細については、「第 5 章 *メンテナンス*」を参照してください。
イメージに縦線が出る	• イメージングガイドをクリーニングしてください。詳細については、「第5章 *メンテナンス*」を参照してください。 • **［縦縞フィルタ］**オプションを有効にするか、強度を高くします。
原稿が重送する	以下の点を確認してください。 • 原稿がフィーダで中央にセットされ、各原稿の先端がフィードローラに接触するようになっている。 • フィードモジュールとセパレーションローラが、汚れたり磨耗していない。 • 特殊な原稿は手動給紙している。 • ギャップリリースが縦の位置になっていない。
U3 がオペレータコントロールパネルに表示される	スキャンする原稿が長すぎます。 • *［原稿管理］* を確認します。［デバイス - 一般］タブの **［最長原稿サイズ］**オプション（TWAIN ドライバ）または［スキャナー］タブの **［最長原稿サイズ］**オプション（ISIS ドライバ）を、スキャンする原稿よりも長く設定します。デフォルトは 43.2 cm （17 インチ）です。 • 解像度を下げます。

インジケータライトとエラーコード

緑色で点灯：スキャナーはスキャンを実行しています。

緑色で速く点滅：オペレータの操作を待っています。

緑色でゆっくり点滅：スキャナーは省電力モードです。

赤色で点灯：スキャナーカバーが開いているなど、スキャナーエラーを示します。

赤色の点灯から緑色で点滅：スキャナーが起動中です。

スキャナーを起動すると、赤色と緑色の両方のインジケータライトが点滅します。約 12 秒後、両方のライトが消えます。緑色のインジケータが点灯したら、スキャナーの準備が完了です。ただし、ホストコンピュータがスキャナーを検出するまで、もう 2 ～ 3 分かかる場合があります。

インジケータ — 以下は、表示されるコードのリストです。

コード	LED インジケータ	説明
U1	赤	イメージングガイドを確認してください
U2	赤	インクカートリッジがありません
U3	赤	原稿が長すぎます
U6	赤	スキャナーカバーが開いています
U7	赤	• 入力トレイの原稿が多すぎます • フィードモジュールが正しく取り付けられていません
U8	緑の点滅	重送により一時停止しました。ユーザーの入力待ちです
U8	赤	重送により停止しました
U9	赤	紙詰まり／搬送路が塞がっています
U41、U42	赤	キャリブレーションに失敗しました。キャリブレーションをもう一度行ってください。再度失敗した場合は、サービスセンターまでお問い合わせください
U51	赤	稼働中に USB 接続が外れました。原稿をもう一度スキャンしてください
U52	赤	タイムアウトです。原稿をもう一度スキャンしてください
U53	赤	この USB の速度はサポートされていません。USB 2.0（またはそれ以降）接続を使用していることを確認してください
U55	赤	USB イベントがしきい値を超えています。原稿をもう一度スキャンしてください
U56	赤	イメージキャプチャがすでに始まっています。原稿をもう一度スキャンしてください
U57	赤	イメージフッターがありません。原稿をもう一度スキャンしてください
Exx コード	赤	• ケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください • 電源を落としてから再度入れなおしてください それでも問題を解決できない場合は、サービスセンターまでお問い合わせください

ソフトウェアのアップグレード

コダックでは問題の修正と新機能の追加のため、ドライバとファームウェアを即時アップデートしています。エラーコードなどが表示されたら、サービスセンターに連絡する前に、最新のドライバにアップグレードしてください。www.Kodak.com/go/disupport で［**i3X00 Software and Drivers**］（i3X00 ソフトウェアとドライバ）にアクセスして、最新のドライバソフトをダウンロードしてください。

サービスセンターへの問い合わせ

1. 国内のお問い合わせは、0120-085580 までお願い致します。
2. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。

- 障害の内容
- スキャナーのモデル名とシリアル番号
- コンピュータの構成
- お使いのスキャンアプリケーション

付録 A　仕様

スキャナーの種類／速度	自動ドキュメントフィーダ搭載カラー両面スキャナー **i3200 スキャナー**：白黒 200 dpi で 50 枚 / 分（A4 横送り） **i3250 スキャナー**：白黒 200 dpi で 55 枚 / 分（A4 横送り） **i3400 スキャナー**：白黒 200 dpi で 90 枚 / 分（A4 横送り） **i3450 スキャナー**：白黒 200 dpi で 90 枚 / 分（A4 横送り）
スキャンテクノロジー	デュアル CCD
出力解像度	100、150、200、240、250、300、400、500、600、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	シングル／マルチページ TIFF、JPEG、RTF、BMP、PDF
最大／最小の原稿の幅	自動給紙：30.5 cm（12 インチ）/ 6.4 cm（2.5 インチ） 手動給紙：30.5 cm（12 インチ）/ 5 cm（2 インチ）
最大／最小の原稿の長さ	自動給紙：86.4 cm（34 インチ）/ 6.4 cm（2.5 インチ） 手動給紙：86.4 cm（34 インチ）/ 5 cm（2 インチ）（後部排紙口のみ） 長尺原稿モード：最大長 4.1 メートル（160 インチ） （本スキャナーは、連続スキャンモードをサポートしていますが、イメージはセグメント化されます。）
フィーダ積載枚数	250 枚
一日の推奨処理枚数	**i3200 スキャナー**：15,000 ページ / 日まで **i3400 スキャナー**：20,000 ページ / 日まで
光源	インスタントオン LED
入力電源	AC100 ～ 240 V（海外対応）、50/60 Hz
外形寸法	**i3200/i3400 スキャナー** 高さ：23.8 cm（9.4 インチ） 幅：43.18 cm（17 インチ） 奥行き（入力トレイを閉状態）：37.1 cm（14.6 インチ） **i3250/i3450 スキャナー** 高さ：25.7 cm（10.2 インチ） 幅：43.18 cm（17 インチ） 奥行き（入力トレイを閉状態）：37.1 cm（14.6 インチ）
重量	**i3200/i3400 スキャナー**：15.8 kg（35 ポンド） **i3250/i3450 スキャナー**：17.7 kg（39 ポンド）
インターフェース	USB 3.0
使用環境温度	15 ～ 35°C (59 ～ 95°F)
湿度	相対湿度：15 ～ 80%
環境要因	ENERGY STAR® 認証スキャナー
消費電力 - スキャナー	スリープモード：<3.1 W 稼働時：<75 W オフ：<0.5 W
騒音レベル（音響出力）	動作時：60 dB(A) 未満 オフモードまたは待機モード：<30 dB(A)
電源規格	24 Vdc 2.5 A

システム要件

コダックi3200/i3250/i3400/i3450 スキャナーの利用に推奨するシステム構成は以下のとおりです。

- PC：Intel Core i7 2600、3.4 GHz（各コア）以上
- USB 2.0 Hi-Speed
- 4 GB RAM 以上
- サポート OS：
  - Microsoft Windows XP（Home および Professional）、SP2 以上
  - Microsoft Windows XP Professional x64 Edition、SP2 以上
  - Microsoft Windows Vista、SP1 以上
  - Microsoft Windows Vista x64 Edition
  - Microsoft Windows 7 (Home/Professional)
  - Microsoft Windows 7 x64 Edition (Home/Professional)
  - Microsoft Windows 8（32 ビットおよび 64 ビット）

同梱ドライバ

- Windows オペレーティングシステム：TWAIN、ISIS、WIA
- Microsoft Windows 2008 Server（32 ビットおよび 64 ビット）

付録B　保証 - 米国、カナダ限定

*コダック*スキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。*コダック*のスキャナーは、最高のパフォーマンスと信頼性をお届けするように作られています。すべての*コダック*のスキャナーには、次の限定保証が適用されます。

*コダック*スキャナーの限定保証

イーストマン・コダック社は、コダックまたはコダック販売代理店から販売された、*コダック*スキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

コダックは、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、*コダック*スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の*コダック*スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての*コダック*スキャナーには、以下に示す保証の除外に関する条項が適用されます。*コダック*スキャナーに欠陥が発見された場合、または製品仕様に準拠しないことがわかった場合は、コダックの判断によって、修理を行うか、新しい製品、または工場整備された製品との交換を行います。

購入者は、*コダック*スキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードに記載された内容から、購入した*コダック*スキャナーに適用される限定保証期間を確認できます。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

コダックの限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に*コダック*スキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) コダックにスキャナーを送り返す際に、その時点で最新のコダックの梱包と輸送のガイドラインにしたがってスキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、シールの破損を含む）。(c) コダック、またはコダックの正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、コダック製品の模造コンポーネントやコダック社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者のミス、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に逆らった、コダックの承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリに使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼動環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電 (ESD) 保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.Kodak.com/go/disupport) で確認可能。

コダックでは、米国以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

コダックでは、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

コダックでは、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらのコダックが保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、また、これに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

*コダックスキャナー*には、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読めば、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られるはずです。ただし、ユーザーズガイドを参照しても不明の場合は、当社のWebサイト(www.Kodak.com/go/disupport)を参照するか、

コダックのサポートセンター（**電話：800-822-1414**）に問い合わせてください。

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日までの、現地時間の午前8時 から午後5時まで 営業しています。

サポートセンターにお電話いただく場合には、*コダックスキャナー*の型番、パーツ番号、シリアルナンバー、購入を証明できるものを事前に用意してください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題の原因が*コダックスキャナー*と別のコンポーネントのいずれにあるのか、問題を電話で解決できるかを、サポートセンターで判断するためのものです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じてRMA番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、*コダックスキャナー*保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。コダックでは、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は*コダックスキャナー*のみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。誤って送付された場合にも、コダックは、それらのアイテムに関しては何らの保証をするものではなく、*コダックスキャナー*の修理後の返送や、交換品の送付の際に返却することはありません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、コダックに返送してください。*コダックスキャナー*の梱包、発送の際には、緩衝材を使用してください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となる*コダックスキャナー*のサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMAの発行から10営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*コダックスキャナー*をRMAが指定する宛先まで発送するものとします。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。コダックでは、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

イーストマン・コダック社（コダック）は限定保証をサポートし、*コダックスキャナー*の使用および取り扱いを支援する（サービス方法）、様々なサービスプログラムを提供しています。*コダックスキャナー*はビジネス上の重要な役割を担う装備です。*コダックスキャナー*は競争力の維持に不可欠な生産性を提供します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、コダックでは限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

お買い求めいただいた*コダックスキャナー*には、限定保証の概要カードが同梱されています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定の*コダックスキャナー*に適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、オンライン(www.Kodak.com/go/disupport)または電話(800-822-1414)で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが同梱されていない場合は、オンライン(www.Kodak.com/go/disupport)または電話(800-822-1414)でも登録を行えます。

コダックはまた、*コダックスキャナー*の使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

コダックでは、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

当社は、製品製造が終了した後に少なくとも5年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

出張サービス

選択したコダックスキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナーにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、コダックの技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/docimaging) 出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの、お客さまの現地時間で午前 8 時から午後 5 時の間に実施しています。

AUR

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定の**コダック**スキャナーの該当する購入者に対し、コダックは 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のあるコダックスキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象なる購入者は RMA 番号を取得する必要があります。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示が送信されます。サービスのリクエストが始まり、コダックが署名された合意書を受け取ってから 2 営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザーが交換用製品を受け取ってから 10 日以内にコダックに届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザーに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、コダックが送料を負担し、輸送手段を選択します。コダックの指示や、コダックが希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品をコダックに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

コダックスキャナーがアドバンス交換やオンサイトサービスの対象でない場合、限定保証の対象である購入者は、当社のディーポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄りの正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、コダックに返送してください。コダックスキャナーには、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。**コダック**スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、**コダック**スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

適用対象資格：アドバンス交換プログラムとディーポサービスは、米国の 50 の州において、限定保証対象の購入者に対して提供されています。また出張サービスは、米国大陸の 48 の州と、アラスカとハワイの一部の地域で提供されています。いずれも対象となるのは、コダックの正規販売店から購入した製品になります。コダックスキャナーが、その時点で最新の保証の除外事由に該当する場合は、保証によるサービスの対象とはなりません。これには、購入者が欠陥のある製品をコダックに返送する際に、コダックの最新の「梱包と輸送のガイドライン」に従わなかった場合も含まれます。購入者は、コダックスキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品：消耗品とは、通常の使用で磨耗し、必要に応じてユーザーが置き換えなければならないアイテムです。消耗品や備品など、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

上記の除外される部品やサービスは、正規サービス店が独自の条件と料金で提供しています。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

コダックの連絡先

コダックスキャナーの連絡先：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

米国内の電話によるサービス、修理、技術サポート：

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 8 時から午後 5 時（お客様の現地時間）まで営業しています。(800) 822-1414

技術文書、サービスプログラム情報、および FAQ は、1 日 24 時間利用可能です。Web サイト (www.Kodak.com/go/disupport) をご覧ください。

Kodak Document Imaging,
a division of 111616 Opco (Delaware) Inc.
2400 Mount Read Blvd.
Rochester, NY 14615

© 2013 Kodak Document Imaging,
a division of 111616 Opco (Delaware) Inc.
All rights reserved.

Kodak の商標およびトレードドレスは、
Eastman Kodak Company から許諾を受けて使用しています。